

## 研究協力をお願い

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたくうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室

### 記

研究の名称	気道狭窄をきたしうる頸部感染症に対する臨床データの調査
対象	2013年1月から2027年12月の予定で、頸部感染症（急性喉頭蓋炎、深頸部膿瘍、扁桃周囲膿瘍など）で入院された患者さんの電子カルテによる臨床データを研究に利用いたします。本学では、約250例を予定しています。
研究期間	研究実施許可日 ~ 2028年12月31日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>利用目的：頸部感染症は炎症が喉頭に波及すると、気道狭窄を生じて生命を脅かす可能性があります。また、重傷の患者さんでは入院期間が長期となる場合や、より濃厚な処置を要する場合があります。</p> <p>過去の臨床データを解析し、頸部感染症から気道狭窄を生じるリスクや入院期間が長期となる原因を把握することで、今後、頸部感染症の患者さんが受診・入院した際に、緊急性や重症度を把握できるようにすることが今回の研究の目的です。</p> <p>利用方法：患者さんの情報を、当院の診療記録から収集し、抽出した情報を基に統計解析を行います。抽出する診療情報は、診療情報と同様に厳重に管理され、個人を特定できる情報が漏れることはありません。研究結果は、個人を特定できないように対処したうえで、学会や学術誌で発表される予定です。本研究は日常診療を行った後に情報をまとめる形で行われる研究（観察研究）ですので、参加することによる直接的な</p>



# 研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿  
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学  
研究責任者 神人 彪 殿

研究の名称	気道狭窄をきたしうる頸部感染症に対する臨床データの調査
-------	-----------------------------

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者 住所

氏名（自署）

ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）